

# 環境への取組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

## ■環境経営基本方針

### 「グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上」

#### —— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

## ■「国際フロンティア産業メッセ2015」に出展

【兵庫・神戸から「チカラ」を地域へ、世界へ】をテーマとして、2015年9月3日・4日に、神戸国際展示場で開催されました「国際フロンティア産業メッセ2015」に神戸製鋼グループも出展しました。

昨年度を上回る29,455人の来場者の関心を引くとともに、多くの業界紙で取り上げられ、神戸製鋼グループの取組みを知っていただくことができました。

(主な出展製品等)

- ・エコメル、スラグ漁礁、フレア護岸、ケニファイン、津波キーパー、移動電源車、自動車軽量化技術、水素ビジネス関連 等



展示ブースの様子

## ■「森の世話人」活動で コベルコシステム株式会社に感謝状

神戸製鋼グループの1社であるコベルコシステム株式会社は、六甲山の森を守り育てる活動に賛同し、「森の世話人」として2010年から金鳥山(神戸市東灘区)の南側の森林を「Kocoroちゃんの森」と名付けて整備しています。

この活動では、コベルコシステム株式会社の社員やその家族をはじめ他の神戸製鋼グループ会社も協力し、森林内の整備(ネザサ刈りなど)、倒木・腐朽木の除去、植樹等を実施し、六甲山の森づくりに貢献しています。

このたびこの活動が評価され、2015年6月28日に、国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所や兵庫県、神戸市などが主催する「六甲山サミット」において、功労者として感謝状が贈呈されました。この功労者には、登録46団体中7団体が選定されましたが、企業として選ばれたのは同社のみでした。

「永年の活動の積み重ねをご評価いただいたことに感謝するとともに、神戸の企業として、より地元へ貢献できるよう、今後も活動を継続していきたいと考えています。」(コベルコシステム株式会社 経営企画部)



活動の様子



表彰式の様子

## ■「第3回 KOBELCO 森の童話大賞」

当社は、「第3回 KOBELCO 森の童話大賞」の募集を行ないました。この事業は、全国の小学生、中学生、高校生を対象とした「森」をテーマにした創作童話のコンテストです。最優秀作品については表彰を行なうとともに、絵本作家による挿絵制作および絵本化を行ない、学校や公立図書館等に寄贈して環境啓発ツールとして活用していただく予定です。

当社は従来から地域に根ざしたNPO活動を支援するとともに、森林整備活動(KOBELCOの森、ECOWAYの森)、神戸市内の児童館への「出前エコ教室」事業への参画など、従業員による実働・参画型の環境・社会貢献活動を展開してきました。

さらに、2013年度からはこれらの活動を深化させる形で、「KOBELCO GREEN PROJECT」を創設し、そのシンボル事業として「KOBELCO 森の童話大賞」をスタートさせました。

本年度は地元兵庫県をはじめとする多くの自治体よりご後援をいただき、加えて、教育関係者への積極的なPRの結果、昨年度を上回る574件の応募をいただきました。

当社はこれからも様々な活動を通じて地域社会への貢献を進めていきます。

審査結果発表:11月下旬予定

表彰式:2016年1月24日(日)

灘浜サイエンススクエア  
にて開催予定



## ■ラグビーの普及活動

当社ラグビー部 神戸製鋼コベルコスティーラーズは、ラグビーを通じて地域・社会との交流やスポーツの裾野を広げる活動を行なっています。

たとえば、今年も神戸市が主催するラグビー人権教室に選手が参加しました。この教室は、国が推進するスポーツ組織と連携・協力した人権啓蒙活動の一環として開催されているもので、今年で3回目となります。選手たちは、自らの体験を語ることやラグビー教室を通じてフェアプレーや助け合い、ノーサイドの精神を神戸市の小学生と一緒に学びました。

また、初めての試みとして、視覚障害のある子供にもラグビーを通じて体を動かすことの楽しさを知ってもらうために、日本ブラインドサッカー協会と一緒に、視覚障害のある小学生を対象としたブラインドラグビー体験を行ないました。子供達は目が見えない分、選手の身体に触れたり、選手がタックルする音に歓声を上げたりするなど、充実した体験会となりました。

このほか、地域住民やファンの方々との交流を深めるとともに、ラグビーを知らない方にラグビーの良さを伝え、ラグビーに興味を持っていただくために、地域のお祭りやトークショー等のイベントに選手が参加しています。今後も当社ラグビー部は、ラグビーを通じて地域・社会と積極的に交流を図り、多くの方々にラグビーの魅力を伝えていけるよう努力していきます。



ブラインドラグビー教室の様子



小学生にラグビーの指導を行なう選手達